

令和7年度第1回豊臣石垣保存管理検討会議 議事要旨

1. 開催日時：令和8年1月23日（水）17:00～18:40
2. 開催場所：大阪城天守閣会議室、大阪城豊臣石垣館
3. 出席者
 - 【メンバー】西形座長、伊藤委員、比佐委員
 - 【オブザーバー】大阪府教育庁文化財保護課
教育委員会事務局総務部文化財保護課
 - 【事務局】経済戦略局観光部観光課 金藏課長、跡部研究主幹、内町課長代理、植木係長

一般傍聴参加者 3名

4. 議事

1. 本会議について
2. 石垣のモニタリングについて
3. その他

【1. 本会議について】

特に意見無し

【2. 石垣のモニタリングについて】

- ・資料について、グラフの情報と計器位置の情報を1目で分かるようにまとめると見やすくなる。
- ・換気の調湿機能で設定される湿度、エアコンの温度切り替え時期、設定期間が環境に影響する。
- ・ルミテスターを用いた検査にあたっては、対象物質が出ていないところも調査し、比較するとよい。
- ・湿り空気線図により、温湿度と結露の関係性がわかる。
- ・開館から閉館までの丸一日、温湿度の動き、入館者の出入りを把握しておく必要がある。
- ・湿度が70%以上の場合は、空調によるコントロールが効いていない状態だろう。
- ・TH-3の湿度が高くなる要因、水分がどこからきているのかがポイントとなる。
- ・1年経過しないと評価しづらいところがあるので、まずは1年のデータ推移をみてから対処を考えていく必要がある。
- ・変位に関しては温湿度の影響を受ける程度の変化なので変状はないと言える。
- ・背面斜面地のボーリング孔の滞水状況であるが、ボーリング孔の水位と石垣地際との高低

差が多いほど、石垣にかかる背面からの圧力が大きいと言える。

- ・グラフ資料には、環境変化の要因となった事象等の補足情報を追記すると理解がしやすい。
- ・グラフの線が重なる部分は色分けにより見やすくするとよい。

【3、その他（石垣管理の体制について）】

- ・可能性としては、大学との共同研究、授業での活用が考えられる
- ・豊臣石垣館の取り組みは手厚く先進的である。
- ・例えば狭山池遺跡、一乗谷朝倉氏遺構の船着き場の遺跡の現場を見るのも良い。
- ・2009年に奈良文化財研究所から遺構露出展示についての論文も参考になるのではないか。

以上